

# WAE NIMO Flow Collectionライセンス例外のトラブルシューティング

## 内容

---

## はじめに

このドキュメントでは、Cisco WAEのNIMOフロー集約プロセスに影響を与えるライセンス例外の診断と解決について説明します。

## 前提条件

### 要件

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

- Cisco WAE(Wide Area Emulator)アーキテクチャとフロー収集プロセス
- Cisco WAEでのスマートライセンスおよびライセンス権限付与チェックについて
- WAEでのNIMO収集ワークフローに精通していること
- WAEサーバでの基本的なLinuxコマンドライン操作の経験

## 使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づいています。

- WAEを使用したCisco Network Management Services(NMS)(MATE、Cariden、Design、Live、Collector)
- WAEソフトウェアバージョン7.5.3 ( ケースコンテキスト )、7.6.4 ( ドキュメントリファレンス )
- LinuxベースのWAEコレクタサーバ
- フロー機能に対して有効化および設定されたスマートライセンス
- この問題の発生前に報告された最近のアップグレード、追加、削除はありません。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな(デフォルト)設定で作業を開始しています。本稼働中のネットワークでは、各コマンドによって起こる可能性がある影響を十分確認してください。

## 背景説明

Cisco WAE(Wide Area Emulator)は、Network Management Services(NMS)スイートに含まれるプラットフォームで、ネットワーク分析、キャパシティプランニング、トラフィックエンジニアリ

ングのために設計されています。NIMO(Netflow Import and Management Operations)コレクタは、ネットワークのレポートと分析に不可欠なフローデータを収集します。WAEの高度なフロー機能のライセンスは、Cisco Smart Licensingによって管理されます。フロー集約やデマンドモデリングなどの各機能には、適切なライセンス権限が必要です。フロー収集時に、WAEは必要なライセンスの可用性とコンプライアンスを確認します。ランタイムプロセスのライセンスチェックとインストールされているライセンス権限が一致しないと、収集が失敗し、ネットワークの監視に影響が及ぶ可能性があります。

このドキュメントでは、Cisco WAEのNIMOフロー集約プロセスに影響を与えるライセンス例外の診断と解決について説明します。有効なライセンスが存在するにもかかわらず、フロー収集が失敗します。

## 問題

NIMOフロー集約(flow\_gregate)プロセス中にWAEサーバで障害が発生しました。この障害には常に、ログ内にライセンス例外が含まれていました。特に、機能「MD\_FlowDemands」に対してチェックアウトされたライセンスがないことを示しています。それにもかかわらず、「license\_check」コマンドの出力には、関連するすべてのフロー機能について有効で準拠するライセンスが表示されました。

### 確認されたログエラー

```
10-Jun-2025::15:37:20.015 SmartLicenseCb Did-35-Worker-32: - LicenseException: No Licenses checked out
com.cisco.wae.sls.exception.LicenseException: No Licenses checked out for feature MD_FlowDemands count:
    at com.cisco.wae.sls.agent.Agent.verifyEntitlement(Agent.java:427)
    at com.cisco.wae.sls.actioncb.SmartLicenseCb.verifyentitlement(SmartLicenseCb.java:335)
    at jdk.internal.reflect.GeneratedMethodAccessor102.invoke(Unknown Source)
    at java.base/jdk.internal.reflect.DelegatingMethodAccessorImpl.invoke(DelegatingMethodAccessorImpl.java:46)
    at java.base/java.lang.reflect.Method.invoke(Method.java:566)
    at com.tailf.dp.annotations.ActionCallbackProxy.action(ActionCallbackProxy.java:125)
    at com.tailf.dp.DpActionTrans.protoCallback(DpActionTrans.java:316)
    at com.tailf.dp.DpActionTrans.read(DpActionTrans.java:222)
    at com.tailf.dp.DpActionTrans.run(DpActionTrans.java:129)
    at java.base/java.util.concurrent.ThreadPoolExecutor.runWorker(ThreadPoolExecutor.java:1128)
    at java.base/java.util.concurrent.ThreadPoolExecutor$Worker.run(ThreadPoolExecutor.java:628)
    at java.base/java.lang.Thread.run(Thread.java:829)
    at com.tailf.dp.DpThread.run(DpThread.java:42)
```

### ライセンスのステータス出力

```
[wae@wae-collector ~]$ license_check | grep Flow
MC_InterASFlows      2025 Sep 02      1      InCompliance
MC_FlowDemands       2025 Sep 02      1      InCompliance
MC_Flow              2025 Sep 02      1      InCompliance
[wae@wae-collector ~]$
```

それにもかかわらず、NIMOコレクションは正常に完了しませんでした。ログとライセンスステータスの出力は、ランタイムプロセスで使用される機能名(「MD\_FlowDemands」)と、インストールされている実際のライセンスの権限付与(「MC\_FlowDemands」)の間で不一致が発生している可能性を示しています。

## 解決方法

この問題は、WAEコレクタサーバでフローエージェントプロセスを再起動することで解決されました。再起動後、NIMO収集が正常に完了し、結果のデータベースファイルの存在が解決を確認しました。次の手順が実行されました。

### ステップ1：エラーログとライセンスステータスの確認

WAEログでライセンス例外を注意深く調べ、license\_checkコマンドを使用してインストールされているライセンス権限を確認します。ログとインストールされたライセンスの機能名に不一致がある場合は注意してください。

```
10-Jun-2025::15:37:20.015 SmartLicenseCb Did-35-Worker-32: - LicenseException: No Licenses checked out
```

```
[wae@wae-collector ~]$ license_check | grep Flow
MC_InterASFlows      2025 Sep 02      1      InCompliance
MC_FlowDemands       2025 Sep 02      1      InCompliance
MC_Flow              2025 Sep 02      1      InCompliance
[wae@wae-collector ~]$
```

### ステップ2：フローエージェントプロセスの再起動(agent\_flow)

WAEサーバ上のフローコレクションを管理するプロセスを再起動します。これは、適切なサービスコマンドまたはプロセス再起動スクリプトを使用して実行できます(実際のコマンド構文は導入によって異なり、ケースデータでは指定されていません)。

```
# Placeholder: Insert the actual service restart command for agent_flow based on your system environment
```

### ステップ3:NIMO収集の完了の検証

フロー集約データベースが正常に作成されたことを確認します。これにより、NIMO収集がライセンス例外なしで完了したことが確認されます。

```
-rw-r--r--. 1 wae wae 80M Jun 10 16:11 as26615_bb_flow_aggregate.db
```

## ステップ4：システムの監視

修正を適用した後、WAEシステムを少なくとも1週間監視して、問題が再発しないこと、およびフロー収集が意図したとおりに動作し続けることを確認します。

```
# Monitoring is performed via normal operational procedures. No specific command output provided.
```

## 原因

根本原因は、ライセンスチェック例外が発生したフローエージェントプロセス内の一時的な問題であると考えられます。「MC\_FlowDemand」に有効で準拠したライセンス資格が存在するにもかかわらず、ランタイムプロセスは「MD\_FlowDemand」に必要なライセンスをチェックアウトできませんでした。フローエージェントプロセスを再起動すると、不一致が解決し、通常の動作に戻りました。永続的な設定または権限付与の問題は特定されませんでした。

## 関連情報

- [シスコのテクニカルサポートとダウンロード](#)

## 翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。